

企画提案書作成要領

1. 企画提案書の構成

以下(1)～(3)の構成で作成すること。

(1) 表紙(別紙様式)

企画提案書作成の別紙(表紙ひな形)を使用し作成すること。なお、記載すべき内容を網羅していれば、任意の様式(A4タテ、ヨコ)を使用しても差し支えない。

(2) 目次(様式は任意)

(3) 企画内容(様式は任意)

以下の各項目について作成すること。

項 目		作成要領
1. 業 務 内 容 に 関 する 提 案	(1)全体像	○本業務の目的である県内酒蔵の収益機会の拡大に向けた酒蔵見学等の有料化・高付加価値化についての基本的な考え方を記載すること。 ○業務全体の実施方針、実施フロー及び成果イメージを示すこと。 ○調査、分析、モデル構築、提案までの一連の流れを分かりやすく記載すること。
	(2) 業 務 内 容	
	①酒蔵現状把握調査	○県内酒蔵へのヒアリング調査等の実施方法について具体的に記載すること。 ○詳細調査を実施する対象者の選定方法、調査項目、実施手順及び分析手法を示すこと。 ○酒蔵見学の実施状況、受入体制、経営課題等を把握するための調査内容を記載すること。
	② 市場動向・ニーズ調査	○国内観光客及びインバウンド観光客の動向把握方法について記載すること。 ○酒蔵見学や体験型観光コンテンツに対するニーズ分析の手法を示すこと。 ○先進事例の調査方法及び本県への適用可能性の分析方法について記載すること。
	③ 酒蔵の類型化及び収益拡大モデル分析	○酒蔵の経営状況、受入体制、立地条件等を踏まえた類型化の考え方を記載すること。 ○類型ごとの課題、収益化可能性及び実施条件の分析方法を示すこと。 ○酒蔵見学、体験型プログラム、物販、インバウンド対応等の多面的な収益モデルの検討方法を記載すること。

項 目			作成要領
		④ 酒蔵見学を活用した事業モデル及び実施スキームの提案	○調査前提の仮説に基づき、酒蔵見学等の収益化・高付加価値化に関するモデル案のイメージを示すこと。 ○モデル案を検討する際の分析手法及び評価項目を示すこと。 ○他県酒蔵との広域連携による誘客及び周遊促進の可能性並びに交通事業者、宿泊事業者、旅行事業者その他観光関連事業者との連携による事業展開の可能性について、検討の考え方及び手法を示すこと。 ○次年度以降の事業展開を見据えた実施スキーム等、検討の進め方を示すこと。
		⑤ 業務実施スケジュール	○契約締結日から令和9年3月 31 日までの具体的なスケジュールを作成すること。 ○調査、分析、協議、報告書作成等の工程を明示すること。 ○県及び関係機関との協議・調整時期を示すこと。
2. 業務実績			○過去に実施した同種又は類似業務の実績について記載すること。 ○業務名、発注者、実施時期、契約金額、業務概要及び成果等を記載すること。
3. 業務実施体制			○責任者及び各担当者の役職、役割分担等それぞれの業務実施等がわかるよう作成すること。 ○本業務を遂行するための専門性や経験を有するスタッフの配置体制について記載すること。
4. 提案金額			○提案金額の総額を記載すること。 ○業務内容ごとの概算内訳を示すこと。 ○消費税及び地方消費税を含めた金額で作成すること。

2. 企画提案書の仕様

- ・A4 版片面印刷(タテ、ヨコいずれも可)とする。カラー印刷可。
- ・表紙及び目次を含め 20 ページ以内とする。
- ・各ページにはページ番号を付すこと。
- ・提出部数:7 部(正本 1 部 副本 6 部)
- ・作成要領に記載されている内容が企画提案書のどこに記載されているのかわかるよう、(別紙)企画提案書記載箇所整理表を提出すること。
- ・厳格に審査するため、企画提案書及び関係書類には、会社名など提案者が特定される情報は記載しないこと。